

新年明けましておめでとうございます。本年もクマタカ通信は、越美山系砂防事務所が行っている事業・防災・広報活動・工事状況や、地域や季節の話題等についてお届けします。本年もどうぞよろしくお願い致します。

**平成30年 新春のごあいさつ**

明けましておめでとうございます。

本年は越美山系砂防事務所にとって節目の年となります。1965年に発生した奥越豪雨を受け、1968年に越美山系砂防事業は始まりました。本年で事業50周年を迎えます。

これまでに整備した砂防施設により地域の安全性は向上していますが、一方で近年日本各地で発生している災害の状況等から、今後も防災対策が必要であることは言うまでもありません。土砂災害を防ぐには施設整備と同時に、地域の警戒避難体制を強固なものにする取り組みなど様々なアプローチが必要ですが、当事務所は引き続き砂防堰堤等の施設整備を進めるとともに、警戒避難体制の確保のために自治体や住民を支援し、地域と一体となって防災力の向上を図るため事業を進めてまいります。

また、事業50周年を機にクマタカ通信やホームページなどでの情報発信を更に強化してまいりたいと思います。

本年が皆さまにとって素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。



平成30年 元日 越美山系砂防事務所長 吉野 睦

**第2回 工事現場における意見交換会を実施しました！**

当事務所では、設計成果の品質向上による生産性の改革とWLB※への改善を目指した取り組みを行っています。この取り組みは、工事施工中の現場を建設コンサルタント・施工業者・発注者の3者が臨場し、課題について議論を行い、今後の設計に反映させるものです。(11月9日(木)実施 49名参加)



意見交換会実施状況



〈 意見交換会より 〉

- ①設計成果向上のための対策として…工事施工ステップ毎の仮設工事など実態に合わせた設計を行う必要がある。
- ②生産性改革に向けて…建設コンサルタントが現場条件について理解することで図面修正を減らす。
- ③施工業者からのコメント…意見交換会に留まらず品質向上の基、各立場において積極的改善および継続参画の機会の必要性が実感できた。
- ④今後の設計にあたっての改善…今後は3次元データの活用や意見交換会の内容を社内で水平展開する。
- ⑤精度の向上と現場をより知る事でWLBを改善する
  - ・三次元データ活用による労力の削減、設計制度の向上が必要。
  - ・工法の選択についてはコスト重視から施工性を考慮した工法の総合的判断を行う。

※ WLB : WORK LIFE BALANCE  
(仕事と生活の調和)

越美砂防フォトギャラリー  
冬景色～積雪の砂防堰堤～



下辻谷第2砂防堰堤  
(揖斐川町小津)



坂内砂防堰堤  
(揖斐川町坂内広瀬)



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

- ◆クマタカ通信の既刊はこちら(事務所HP)
- ◆越美山系砂防事務所HPへはこちら

発行 国土交通省中部地方整備局  
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所  
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3  
Tel:0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626  
E-mail: [cbr-ibigawasabo@mliit.go.jp](mailto:cbr-ibigawasabo@mliit.go.jp)

※法人については文中敬称略

